



向山デイサービスセンター

医療法人が新規に開設した地域密着型認知症対応型の通所介護施設である。主に地域のお年寄りの昼間の暮らしを家庭的な雰囲気ですることをめざしている。敷地は、母体である医療法人の病院敷地に近い閑静な住宅地にある。地形は平坦で緑にも恵まれた好条件にあるが、新しく生まれる交通や景観の変化に対する配慮が求められた。

お年寄りの通いの施設では車の乗り降りの安全確保は課題となるが、ここでは敷地のゆとりを活かして、車寄せと主玄関を敷地奥に置いた。このことで車の乗り降りに時間をかけることが可能となるとともに、庭を介して建物を地域へ開くことができた。この前庭にはご近所の人もし立ち入り、テラスでくつろぐお年寄りとおしゃべりの場ともなっている。

景観面では、住宅地への景観調和と地域福祉拠点としての適度な存在感に配慮した。周辺の藁と色彩調和を図りつつ、2階部分を小屋組内部に包含する大きな方形屋根とした。四隅の小さな面取りがむくり屋根のような柔らかさを生み、“とんがり屋根のデイサービス”との愛称も得た。屋内は、木材の架構と白壁、民家風の格子や障子の建具を用いてお年寄りのための落ち着いた空間づくりに心掛けた。

- 1 全景
- 2 居間上部
- 3 玄関
- 4 内玄関
- 5 相談室
- 6 テラス
- 7 障子窓